



「E-NEWS むらやま」で検索または 右記QRコード から、バックナンバーも見ることができます。

## ～「確かな学力」の育成に向けた生きた「アクションプラン」の活用について～ 第1回学習指導力向上研修会 令和5年5月12日(金)

「アクションプラン」は、全国学力・学習状況調査の問題や結果を通して、学校として育成を目指す資質・能力を学校全体で共有し、それに対する取組を全員で進めるために作成します(アクションプラン作成要領より)。今回の研修には、授業づくりや学力向上の取組の中核を担う小・中学校の先生方、市町教育委員会の指導主事等計115名の方々に参加いただきました。講義・演習を通して、学校の組織力向上の視点から「確かな学力の育成」に向けた「アクションプラン」の活用の仕方について、学びを深めることができました。

**講義** 「『育成を目指す資質・能力』を核にした組織力の向上」  
山形大学大学院教育実践研究科 准教授 鈴木 貴子氏



ビルド(追加) スクラップ(精選)



**インテグレート(統合) & アップグレード(更新)**



学校を取り巻く教育問題の複雑化・多様化や社会環境の変化により、学校教育に必要なものを精選することが難しくなっています。その結果、教育活動が「ビルド&ビルド」で追加され、教職員の疲弊感や多忙感につながっている現状はないでしょうか。

そうした現状を打破していくための視点が「**インテグレート(統合)とアップグレード(更新)**」です。意図的にスクラップ(精選)するのではなく、結果的に選ばないという考え方です。「**育成を目指す資質・能力**」を核として、やるべきことを**既存の教育活動に統合**していくことにより、既存の教育活動は一層充実し、**よりよいものへと更新**されていきます。

### <参加者の声>

- 学校が付けた力を重点化し、みんなで理解した上で戦略を練ることが大切であり、その発信を担っていく責任を感じた。
- 個の力と組織のかけ算により教育効果が上がるという新たな視点を発見できた。生きた「アクションプラン」づくりを目指してマネジメント能力を高めていきたい。
- 演習を通して、「アクションプラン」やカリキュラム・マネジメントについての情報・意見交換や講義内容をかみ砕く時間が有意義だった。統合という新たな視点で「アクションプラン」を見直し、活用に向けて前向きに取り組んでいきたい。
- 全国学力・学習状況調査をもとに、目指す子供の姿に関わることを分析し、「アクションプラン」に取り入れて更新を図っていきたい。

「アクションプラン」を機能させ、「確かな学力」を育成していくためには、学校として「育成を目指す資質・能力」を重点化し、共有することが不可欠です。重点化された資質・能力の育成に向け、必要となる教育活動の「インテグレート(統合)とアップグレード(更新)」を進めるとともに、取組の成果を意図的、計画的、継続的に評価し、教育の質の向上を目指しましょう。

# My ボランティア スキルアップセミナー

Murayama Young

令和5年度次世代の地域づくり中核人材育成事業  
(兼) 地域青少年ボランティア活動推進事業



村山教育事務所では、中学生のボランティア活動を推進するために、山形県青年の家(天童市)を会場に、「MYボランティアスキルアップセミナー」を下記のプログラム(日帰り2日間)で行います。

- 8月1日(火)：ボランティア講座、実技講座、グループワーク 等
- 8月2日(水)：ボランティア実習体験、振り返り 等

昨年度の活動の様子です。

### ● 仲間との出会い



### ● つながる笑顔



● 企画・運営力を磨く

● 新たな自分の発見

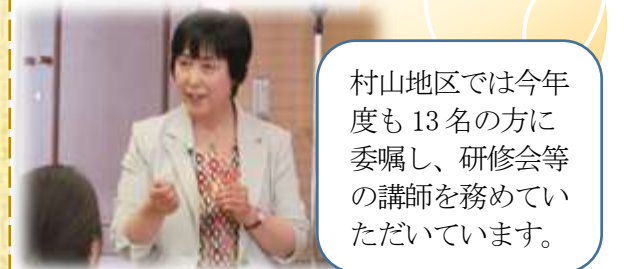
今年度のテーマは、「**未来への一歩 ～ つなぐ ひらく 見つける ～**」です。学校の枠や年齢を超えて仲間とつながり、出会った仲間と企画・運営に挑戦することで、自分自身の新たな一面を見つける機会となります。さらに、このセミナーでの経験は、自分の可能性を広げ、未来への新たな一歩を踏み出すきっかけとなるはず。たくさんの参加をお待ちしております。

## 怒りをコントロールして人生をもっと楽しく! ～今日から始まるアンガーマネジメント～

5月10日(水)に第1回村山地区家庭教育支援フォーラムを開催しました。教職員・幼保関係者、子育て支援関係者など、家庭教育を支援する様々な職種のたくさんの方々より多数の参加をいただき、研修を深めることができました。須藤好子氏を講師に迎え、グループでの交流を交えながら笑顔と笑い声あふれる学びの場となりました。自分自身の見方や捉え方を見直し、よりよい人間関係を築くためのヒントを得る機会となりました。

### 【参加者の声】

- ・怒りをコントロールするためには、まず自分のストレスをコントロールすることが必要だと思いました。ストレスマネジメントと一緒に、子供、保護者に伝えてみようと思います。また、数値や言葉にしてみると、自分の怒りは小さなものだと思えることができました。
- ・自分の中の意識を変えて、怒りと上手に付き合っていけるようになりたいと思いました。先生のお話がとても楽しく、興味が高まるような内容でした。



村山地区では今年度も13名の方に委嘱し、研修会等の講師を務めていただいています。

須藤 好子 氏  
県家庭教育アドバイザー  
一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会  
アンガーマネジメントファシリテーター  
アンガーマネジメント叱り方トレーナー  
アンガーマネジメント  
ハラスメント防止アドバイザー  
元養護教諭

